

2024年度

事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

目 次

I	「建学の精神」について	1
II	理事長からのメッセージ	1
III	法人の概要	
	1. 設置する学校・学部・学科等	2
	2. キャンパス所在地	2
	3. 理事・監事・評議員	2
	4. 学院長、学校長、学部長・学科長	3
	5. 入学定員、学生数等の状況	4
	6. 教職員の人数	6
	7. 学院の沿革	7
IV	事業の概要	
	1. 法人	8
	2. 大学	10
	3. 中学校・高等学校	17
	4. 大学附属こども園	20
V	財務の概要	
	1. 2024年度の決算内容	22
	2. 財務状況の推移	26
	3. 学校法人会計の概要と用語説明	27
VI	第3次中期経営計画と実績	
	1. 2024年度実績と中期経営計画および前年度との比較	28
	2. 課題に対する成果	29

I 「建学の精神」について

知性を広げ 望みを高くし 感受性を豊かにし そして神を知らせる

この言葉は、大阪の川口居留地で米国聖公会宣教師として活躍していたクインビー 司祭が、1875（明治8）年3月20日付で本国へ書き送った手紙の中にあります。

この建学の精神は、本学院の教育の根底に流れていますキリスト教精神に基づいた教育理念であり、今日に至るまで受け継がれています。

II 理事長からのメッセージ

「2024年度 事業報告書」がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

本年度の1月21日には、平安女学院創立150周年記念式典を聖公会関係学校の皆様、関係機関の皆様、同窓生の皆様など約800名のご臨席を賜り、挙行する事ができました。

このことは、150年という大きな区切りを機会に、多くの皆様から新たな門出をお祝いいただき、さらに新たな力を授けていただきました。感謝の気持ちで一杯です。

この2年間は、20年続いた前理事長の時代からの脱皮の期間であり、次の50年に向かって飛躍するための準備期間であったと考えております。2025年度からは私立学校法の改正に伴い改正した寄附行為に基づく学校運営を始めるにあたり、理事、評議員を一新し、この体制でなければできないことに、積極的に挑戦する学校運営を行いたいと心を新たにしております。

2024年度の決算は、学生生徒数の減少により、特に大学の赤字が拡大したことに加え、不動産の一部売却等による費用160百万円を計上したため、事業活動収支計算書の経常収支差額が△261百万円の赤字となりました。前年度比△179百万円の悪化です。これは、経常収入が学生生徒の減少により、△62百万円減少した半面、経常支出が一時的な支出160百万円もあり、116百万円増加したことによります。

2025年度も今期同様に厳しい決算が続きますが、2025年度を底にV字型回復が明確に確信できる学校運営を行う覚悟であります。また、そのための財務構造の変革を2024年度に行いました。具体的には、「現預金・有価証券—金融機関借入・学債」が、2024年3月末現在△835百万円であったものを、2025年3月末現在+4,083百万円にまで改善し、新たな投資に向けられる資金が少なくとも2,000百万円準備できました。この資金を活用し、戦略的構造改革を行い、学校法人として持続可能な状況に、この2年で改革いたします。

厳しい経営環境に毅然とした戦いを挑み、150年の歴史を築いて来られた先人のご苦勞に少しでも報いたい。特に、建学当初の50年は、想像を絶する苦勞と挑戦を、信仰を心の糧に歩みを進めてこられました。そうした歴史の上に今があります。今まさに、神様は我々に試練をお与えになり、乗り越えられるかをお試しになられているに違いありません。

我々、平安女学院の教職員一同は、本学院が地域から必要とされ、神から託された教育事業を続けていけるように、誰にも負けない努力を続けてまいります。引き続き皆様のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

学校法人 平安女学院
理事長 毛利 憲一

Ⅲ 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

(2024年5月1日現在)

(1) 平安女学院大学

国際観光学部 国際観光学科 (京都キャンパス)

子ども教育学部 子ども教育学科 (高槻キャンパス)

(2) 平安女学院高等学校 (全日制課程 普通科) (京都キャンパス)

(3) 平安女学院中学校 (京都キャンパス)

(4) 平安女学院大学附属こども園 (高槻キャンパス)

2. キャンパス所在地

(2024年5月1日現在)

京都キャンパス	京都府京都市上京区室町通樺木町上る武衛陣町221番 代表電話 075-414-8155
高槻キャンパス	大阪府高槻市南平台五丁目81番1号 代表電話 072-693-2311

3. 理事・監事・評議員

(2024年5月1日現在)

(1) 理事・監事

〔理事〕 (定員5名以上8名以内、現員7人)

区分	氏名	職
理事長	毛利 憲一	大学副学長
専務理事	栗田 康文	法人事務局長
常務理事	関根 秀治	元(社)茶道裏千家淡交会副理事長
理事	荒川 雄次	国際観光学部教授
※ 理事	高地 敬	日本聖公会京都教区主教
理事	今井 千和世	中学校高等学校校長
理事	中辻 努	学識経験者

(異動)

※ 退任	2025. 2. 28	理事	高地 敬	日本聖公会京都教区主教
就任	2025. 3. 1	理事	大岡 左代子	学識経験者

〔監事〕 (定員2人、現員2人)

区分	氏名	職
監事	西山 伸一	元金融機関監事
監事	竹中 芳晴	弁護士

(2) 評議員

〔評議員〕 (定員 理事の定数の2倍をこえる数、現員15人)

氏名	職	氏名	職
毛利 憲一	理事	関根 秀治	理事
荒川 雄次	理事	※ 高地 敬	理事
今井 千和世	理事	松尾 光洋	大学学長
黒井 いく	国際観光学部長	井上 容子	附属こども園長

磯野 眞紀子	子ども教育学部教授	藤井 康幸	法人総務部長
大岡 左代子	聖公会司祭、2025.3～理事	君島 茂	元子ども教育学部教授
桜井 和之	学識経験者	難波 一安	学識経験者
戸田 貴子	大学後援会顧問		

(異動)

※ 退任 2025.2.28 高地 敬 理事

就任 2025.3.1 東 弘彦 学識経験者

(3) 役員賠償責任保険制度への加入

私立学校法第97条に従い、理事会決議により私大協役員賠償責任保険に加入しました。

- ア. 団体契約者
- ・私立大学協会
- イ. 保険期間
- ・2024年4月1日～2025年4月1日
- ウ. 被保険者
- ・記名法人：学校法人 平安女学院
 - ・個人被保険者：理事、監事、評議員、理事会決議により選任された職員
- エ. 補償内容
- ・役員に関する補償：法律上の損害賠償金、争訟費用等
 - ・記名法人に関する補償：法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用等
- オ. 支払いの対象とならない主な場合
- ・被保険者が私的な利益または便宜の供与を違法に得たことに起因する対象事由
 - ・被保険者の犯罪行為に起因する対象事由
 - ・法令に違反することを被保険者が認識しながら行った行為に起因する対象事由
- カ. 保険期間中の総支払限度額
- ・1億円

(4) 責任限定契約・補償契約

いずれの役員とも、責任限定契約及び補償契約を締結していません。

4. 学院長、学校長、学部長

(2024年5月1日現在)

〔学院長〕

高地 敬 (2025.2.28 退任)

〔平安女学院大学〕

学 長 松尾 光洋 (2024.4.1 就任)

副学長 毛利 憲一

国際観光学部長 黒井 いく

子ども教育学部長 塩見 知利 (2024.4.1 就任)

〔平安女学院中学校高等学校〕

校 長 今井 千和世

〔平安女学院大学附属こども園〕

園 長 井上 容子

5. 入学定員、学生数等の状況

(2024年5月1日現在)

(1) 平安女学院大学

(単位：人、％)

学 部	学 科	入学 定員	収容 定員 ※	在学生数					収容 定員 充足率
				1 年	2 年	3 年	4 年	計	
国際観光学部	国際観光学科	80	410	78	40	69	91	278	67.8
子ども教育学部	子ども教育学科	80	300	35	50	46	70	200	66.7
総 計		160	710	113	90	114	161	478	67.3

※ 2024 年度入学定員変更…国際観光学科 100 人→80 人、3 年次編入学定員変更…10 人→0 人
 2023 年度入学定員変更…国際観光学科 110 人→100 人、子ども教育学科 70 人→80 人
 2020 年度入学定員変更…国際観光学科 90 人→110 人、子ども教育学科 90 人→70 人

(2) 収容定員充足率

(毎年度 5 月 1 日現在)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
大学	87.3	90.3	84.7	74.5	67.3
短期大学部	70.0	57.5	—	—	—

※短期大学部は 2020 年度募集停止、2022 年 3 月廃止

(3) 平安女学院高等学校

(単位：人)

入学 定員	収容 定員	在学生数			
		1 年	2 年	3 年	計
320	960	177	129	136	442

(4) 平安女学院中学校

(単位：人)

入学 定員	収容 定員	在学生数			
		1 年	2 年	3 年	計
160	480	54	49	47	150

(5) 平安女学院大学附属こども園

(単位：人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
定員	6	12	12	35	35	35	135
在園児数	5	12	12	34	35	33	131

※0・1・2 歳児定員は 3 号のみ、3・4・5 歳児定員は 1 号が各 23 名、2 号が各 12 名

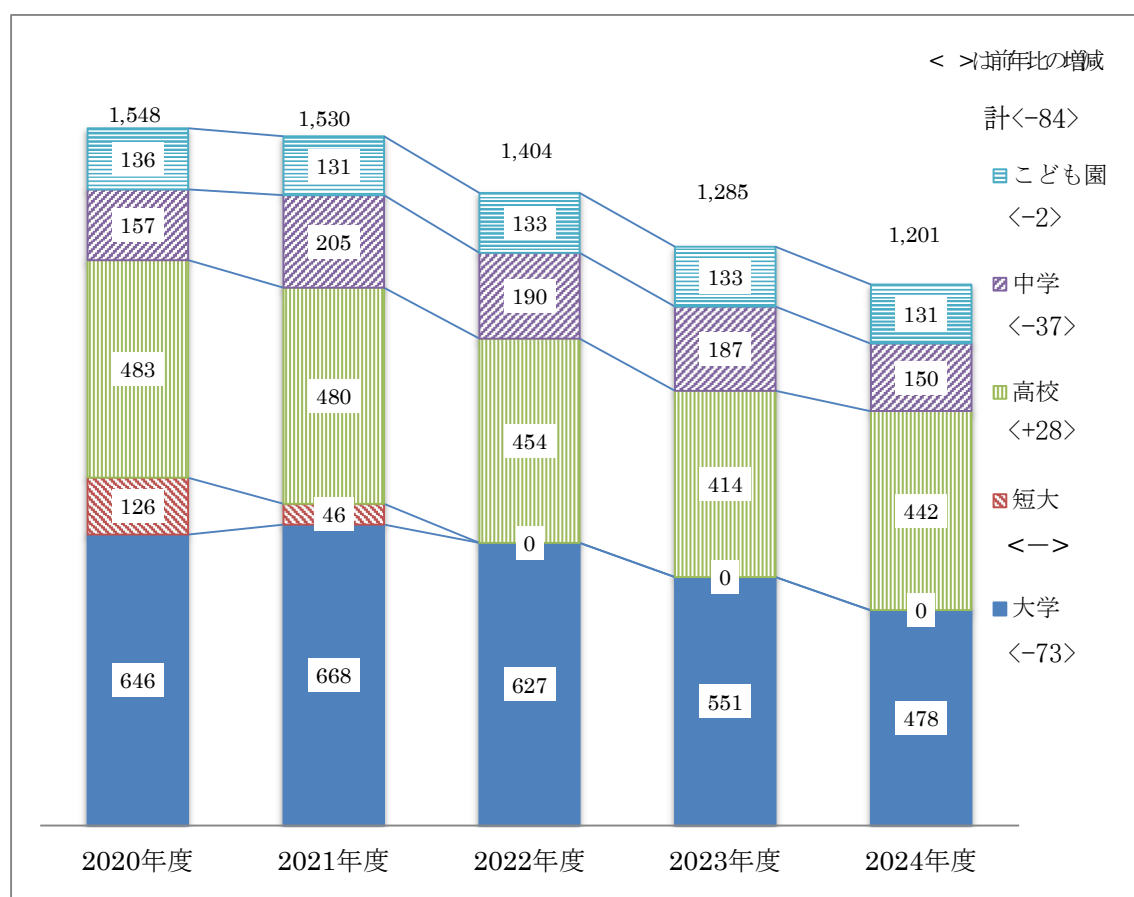
(6) 平安女学院 学生・生徒・園児総数・新入生総数

(単位：人)

		学生・生徒・園児数 () 内は「新入生数」			参考
		2023年5月1日 現在	2024年5月1日 現在	増減	2025年5月1日 現在
大 学	国際観光学部	321(40)	278(78)	-76(+38)	240(50)
	子ども教育学部	230(55)	200(35)	-30(-20)	158(24)
	計	551(95)	478(113)	-73(+18)	398(74)
平安女学院高等学校		414(132)	442(177)	-40(+45)	450(147)
平安女学院中学校		187(49)	150(54)	-37(+5)	150(46)
大学附属こども園		133 (-)	131 (-)	±0 (-)	124(-)
在学生総数		1,285(276)	1,201(344)	-84(+68)	1,122(267)

(7) 平安女学院 学生・生徒・園児総数の推移

(単位：人)



※2022年3月短期大学部廃止

6. 教職員の人数

(2024年5月1日現在)

(1) 教 員

平安女学院大学 () 内は、特任教員内数

(単位：人)

区 分	専任(特任)					非常勤講師	合 計
	教授	准教授	講師	助教	計		
国際観光学部	9(4)	2(0)	1(0)	4(0)	16(4)	20	36
子ども教育学部	10(8)	5(1)	1(0)	5(1)	21(10)	33	54
大学計	19(12)	7(1)	2(0)	9(1)	37(14)	53	90

平安女学院高等学校

(単位：人)

区 分	専 任							非常勤講師	合 計
	校長	副校長	教頭	教諭	助教諭	常勤講師	計		
全 校	1	1	0	17	1	13	33	34	67

平安女学院中学校

(単位：人)

区 分	専 任							非常勤講師	合 計
	校長	副校長	教頭	教諭	助教諭	常勤講師	計		
全 校	0	0	0	8	0	2	10	4	14

※学校長は中学校・高等学校兼務

平安女学院大学附属こども園

(単位：人)

区 分	専 任				兼務教員	合 計
	園長	教諭	嘱託	計		
全 園	1	14	2	17	26	43

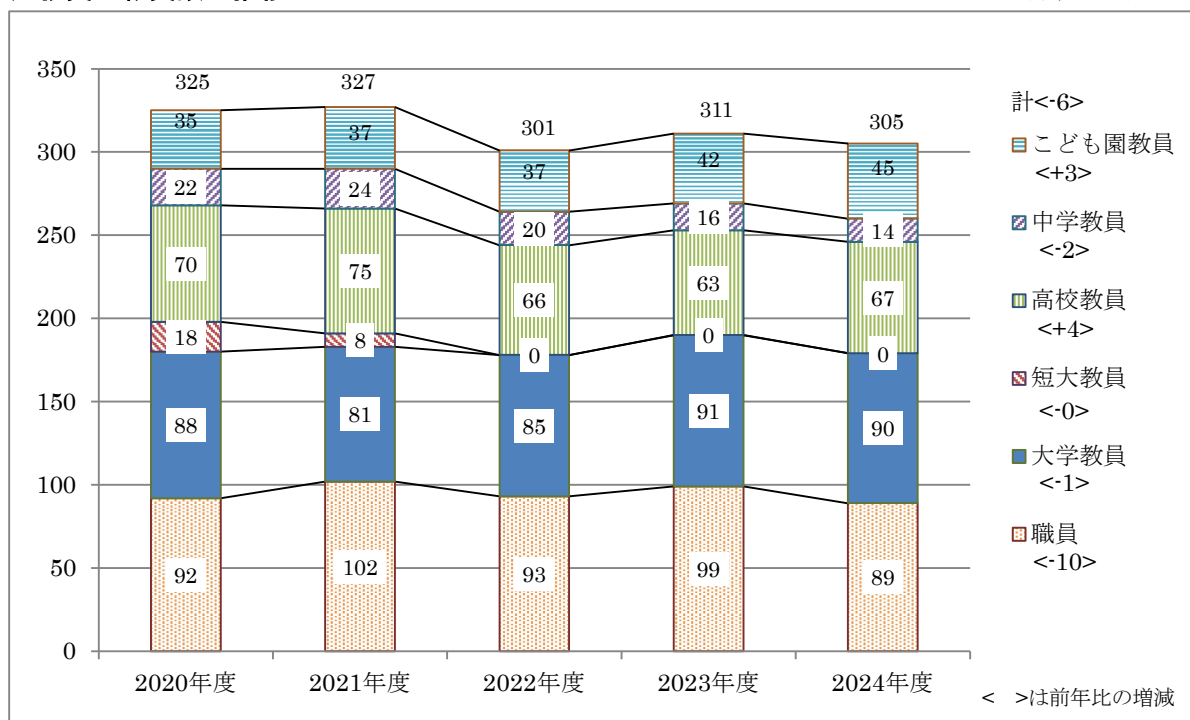
(2) 職 員

(単位：人)

区 分	法人	大学	中学高校	こども園	合 計
専任職員	7	20	5	1	33
嘱 託	4	11	12	0	27
契約職員	0	0	1	0	1
パートタイマー	1	24	2	1	28
計	12	55	20	2	89

(3) 教員・職員数の推移

(単位：人)



7. 学院の沿革

- 1875年 9月 米国聖公会宣教師ミス・エレン・G・エディが、大阪の川口にあつた居留地内に「エディの学校」を設立、生徒3名
- 1880年 4月 学校名を聖書の言葉から「照暗女学校」(英語名St.Agne's School)と改称
- 1894年11月 学校名を「平安女学院」と改め、翌年4月の京都での開校を決定
- 1895年 6月 新校舎(現「明治館」)が落成
- 〃 9月 始業式。9月に新入生12名が加わり、生徒20名
- 1915年 4月 「聖三一幼稚園」を開設
- 1947年 4月 新たな六三制教育制度のスタートに合わせ、「平安女学院中学校」を設置
- 1948年 4月 「平安女学院高等学校」を設置
- 1950年 4月 「平安女学院短期大学」を開学
- 1966年 4月 聖三一幼稚園を「平安女学院幼稚園」に改称
- 1987年 4月 短期大学、幼稚園を大阪府高槻市南平台に新設した高槻キャンパスに移転
- 2000年 4月 「平安女学院大学」をびわ湖守山キャンパス(滋賀県守山市)にて開学
- 2002年 4月 短期大学を「平安女学院大学短期大学部」に改称
- 2005年 4月 高槻キャンパスにびわ湖守山キャンパスを統合
- 2007年 4月 研究環境を考慮し、「国際観光学部」を京都キャンパスに開設
- 〃 幼稚園を大学の附属とし、「平安女学院大学附属幼稚園」に改称
- 2009年 4月 大学「生活福祉学部」の募集を停止し、新たに「子ども学部」を開設
- 2015年 4月 大学「子ども学部」を「子ども教育学部」に名称変更
- 2019年 3月 こども園に移行のため「平安女学院大学附属幼稚園」を廃止
- 2019年 4月 「平安女学院大学附属こども園」を開設
- 2021年 4月 短期大学部保育科の募集を停止
- 2022年 3月 「平安女学院大学短期大学部」を廃止

IV 事業の概要

1. 法人

(1) 平安女学院大学有栖館の売却

2024年5月31日(金)に平安女学院大学有栖館(有栖川宮旧邸)を、森トラスト(株)へ売却しました。

有栖館は、2008年に国から取得し、この間、大学の授業や春・秋の一般公開を行ってきました。

今般、2025年に創立150周年を迎えるに当たり、設備投資など新たな展開を図るために、売却を検討しました。売却先は、森トラスト(株)が現存の建物を活用する方針を打ち出したことも踏まえて決定しました。

(2) 平安女学院創立150周年記念式典

2025年1月21日(火)に、京都キャンパスの平安女学院中学校高等学校 体育館にて「平安女学院 創立150周年記念式典」を挙行了しました。

式典では、同窓会総会、創立記念礼拝、記念講演会を行い、関係諸機関・企業の皆様、同窓生の皆様約800名のご臨席を賜りました。

午前中に同窓会総会を行い、その後の歓談の時間に旧交を温めていただきました。

午後からは聖公会京都教区の主教であり、本学の学院長である高地敬主教の司式による創立記念礼拝を行いました。

礼拝の後、本学院の卒業生で料理研究家の大原千鶴様による記念講演会「毎日の食から出来ること」を開催。平安女学院での思い出も交えながら、「食料自給率」や「地産地消」、「日々の料理で活かす事のできる料理のコツ」についてご講演いただきました。

旧友との交流を深めていただき、平安女学院での青春の日々に思いをはせていただくことのできた一日となりました。

(3) 私立学校法の改正に伴う寄附行為等の改正

私立学校法が改正され2025年4月1日に施行されることから、本学の寄附行為及び諸規程を改正私立学校法に準拠するものに改正しました。寄附行為については、2025年1月27日付で文部科学大臣の認可を受けました。

(4) 寄附金募集事業

《2024年度 寄附金(募金)額と前年比》

(単位: 件、円)

	寄付内訳	2024年度寄付金累計		前年度対比	
		件数	金額	件数	前年度比
一般寄付金収入	学院振興寄付(一般)	0	0	-2	-10,010,000
	教育研究強化事業	1	1,700,000	-42	-423,000
特別寄付金収入	明治館・有栖館見学者寄付	0	0	-3	-479,500
	奨学金のため	64	210,000	-15	-27,000
	中高教育設備支援寄付	0	0	-50	-1,890,000
	その他特別寄付金収入	257	9,395,720	257	9,395,720
合 計		333	17,140,223	152	-1,049,575

現 物 寄 付	5	611,892	0	-827,839
---------	---	---------	---	----------

(5) 学債の発行

ア. 学債の発行・残高状況

(単位：件、千円)

	件数	金額
2024 年 3 月末学債残高	177	570,400
2024 年度の学債発行	6	29,000
2024 年度の学債償還	20	58,900
期末学債残高(2025 年 3 月末)	163	540,500

※2025 年度の学債償還 25 件 87,400 千円
 2026 年度 〃 69 件 228,200 千円
 2027 年度 〃 12 件 39,000 千円
 2028 年度 〃 27 件 76,500 千円
 2029 年度 〃 30 件 109,400 千円

イ. 期末残高・件数 (単位：件、千円)

	件数	金額
2013 年度末	2	15,200
2014 年度末	189	580,300
2015 年度末	198	603,900
2016 年度末	281	820,900
2017 年度末	296	879,100
2018 年度末	303	917,400
2019 年度末	295	927,500
2020 年度末	261	834,000
2021 年度末	260	828,400
2022 年度末	222	705,600
2023 年度末	177	570,400
2024 年度末	163	540,500

ウ. 期末(2025 年 3 月末)における学債申込者内訳

(単位：件、千円)

	件数	残高金額
理事・評議員・教職員等	13	23,300
大学在校生・保護者・保護者親戚	59	253,200
卒業生・校友会等	91	264,000
合計	163	540,500

エ. 募集金利

(単位：%)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
3 年物	0.40	0.40	0.15	0.15	0.15	0.20	0.40	0.50
6 年物	0.60	0.80	0.30	0.30	0.30	0.40	－	－

オ. 学債に関する今後の方針

- (ア) 2024 年度からは、学債の新規募集を停止しています。
- (イ) 2024 年度から 2026 年度の間に期日が到来する学債は、継続の場合でも期間 3 年かつ期日には償還の取扱いとします。
- (ウ) 2027 年度から 2029 年度の間に期日が到来する学債は、償還のみの取扱いとします。

2. 大学

(1) 主な教育活動

ア. 大学 国際観光学部

(ア) 教育のポイント

2024年4月2日(火)～3日(水)に、新入生向けの宿泊オリエンテーションを京都市内の旅館にて実施しました。授業が始まる前に友達を作るというのが一番の目的ですが、新入生はクラスメートと連絡先を交換し、なごやかな雰囲気履修ガイダンスなどに参加していました。宿泊翌日はあいにくの雨模様でしたが、円山公園などを巡検しました。

日本では最近、起立性障害に悩む高校生が多いという状況を受けて、1年次は2講時から授業を開始するという試みを始めました。1年かけて少しずつ遠方から通学する学生も大学生活に慣れていくという期間を設け、2年次からは通常通り1講時からの科目を履修登録するという態勢を整えました。1年次生には概ね好評であったと感じています。

海外留学や遠方への国内フィールドワークの他、海外フィールドワークも実施しました。また、引き続き修学旅行ガイドなど「京都」という土地柄を活かした学びを展開しました。

なお、「京都歴史文化コース」「外国語特修コース」「ホテル・ホスピタリティコース」それぞれのコースの特性を生かすため、昨年度に引き続きコース別活動日を設定し、それぞれの学びを深めました。

「外国語特修コース」の学生は、鉄道、航空、旅行会社、ホテルなど国際的な環境で仕事をする卒業生4名から現場での仕事の内容について詳しく体験を聞きました。

「京都歴史文化コース」「ホテル・ホスピタリティコース」の学生は伏見や嵐山などの観光地を訪れ、オーバーツーリズムの現状を体験し知見を深めました。

「韓国現代プログラム」を選択している学生達は、釜山外国語大学の大学生とZoomを使ってランゲージエクスチェンジをおこない、韓国語のスキルアップに励みました。

「エアラインプログラム」を選択している学生16名は12月2日(月)に大阪国際空港に行き、普通は入ることのできないオペレーション部門を見学し、グランドハンドリング、グランドスタッフ、キャビンアテンダントの方だけでなく、総合職の皆さんにも業務紹介をしていただき有意義な1日となりました。

5月20日(月)には米国テキサス大学工学部の学生・教員50名余りが来校され、京都市内を学生が案内したり、茶道部が茶をふるまったり、本学の学生も一緒にテキサス大学の先生の授業を受けるなどして有意義な時間を過ごしました。

また、昨年同様、釜山外国語大学の学生11名と教員2名が7月3日(水)～11日(木)に夏季研修のために来校された際には、対面で交流を図ることができました。

創立150周年を受けて、国際観光学部の記念事業としてアグネス詩人賞を公募し、外部の方たちに混じって、在学生から入選者が出ました。

秋学期には、創立150周年行事の一環として「京都の伝統文化」を開講し、京都在住の著名な文化人の先生方をオムニバスで毎週、講師に招き、外部からの聴講生と一緒に能、茶道、懐石、書などの伝統文化について学ぶ機会を得ました。

(イ) 主な教育活動内容

a. 海外留学

2024年3月には、2023年度入学生がアメリカ(3名)、オーストラリア(1名)に留学し、語学習得に取り組みました。

カナダの大学付属語学学校に出願後、カナダ政府がビザの申込方法を変更したため、急遽、留学先をアメリカに変更した学生もありましたが、希望者全員が留学生生活を始めることができ12月には全員が無事帰国しました。

b. 国内フィールドワーク

2024 年度は、3 回に分けて京都府各地を訪れ、「観光町づくり」と「伝統文化の再評価」をキーワードに掲げ、「持続可能な観光」への理解を深めました。

- ・「森の京都」6 月 15 日(土) 丹波
- ・「海の京都」7 月 27 日(土)～29 日(月) 福知山、宮津、伊根など
- ・「お茶の京都」10 月 19 日(土)、10 月 27 日(日) 宇治

c. 海外フィールドワーク

9 月 5 日(木)～12 日(木)に 7 泊 8 日で韓国を訪れ現地調査を実施しました。

d. 修学旅行ガイドほか

5、6、9 月に中学校 4 校の修学旅行ガイドを 2・3・4 年次生が担いました。

京都市・大学コンソーシアム京都・JTB で展開する「B&S プログラム」に参加しました。

また、NPO 法人都草・四条大船鉾保存会と連携し、7 月 7 日(日)に「ちまき作り(16 名)」と、後祭り宵山期間(7 月 21 日(日)～23 日(火))での「ちまき授与(延べ 60 名程度)」に参加しました。

イ. 大学 子ども教育学部

(ア) 教育のポイント

子ども教育学部子ども教育学科には、子どもの成長と学びをサポートする人材育成のために 3 つのコースがあります。

「子ども保育コース」は、主として保育士・幼稚園教諭を目指します。

「子ども教育コース」は、主として小学校教諭を目指し、小学校の英語教育に対応できるように中学校教諭免許(英語)を取得できる「英語専修」を併設しています。

「子ども心理コース」は、公認心理師(受験資格)または認定心理士を目指すことができます。

それぞれのコースで副専攻として他のコースの免許資格を取得することもでき、最大 3 つの免許資格を取得することができます。

また、学内研究活動の活発化と学生への最新研究の還元を目指し、2023 年に設置された幼児教育研究センターが本格的に始動し成果をあげつつあります。

学修面で困難を抱える学生を支えるためにラーニングサポートセンターを設置し、学生有志がピアチューターとして授業課題の支援や学生生活の相談に応じました。

(イ) 主な教育活動内容

- a. 2024 年度は、授業・各種実習もコロナ禍以前の状況に戻り、予定通りに実施しました。起立性障害等の学生に配慮して 1 年次生の授業は全て 2 講時始まりとしました。1 年次生・2 年次生の体験実習も、通常通りに実施しました。

実習種別	学年	実習期間
教育実習 a (幼稚園)	4 年	6 月 3 日～6 月 28 日 (一部延期)
教育実習 b (小学校)	3 年	8 月 26 日～9 月 24 日 (一部延期)
教育実習 c (中学校)	4 年	5 月 14 日～6 月 28 日 (期間内の 15 日間)
保育実習 I b (保育所)	3・4 年	9 月 2 日～9 月 13 日 (一部延期))
保育実習 II	3・4 年	11 月 11 日～11 月 22 日 (一部延期)
保育実習 I a (施設)	2・3 年	2025 年 2 月 10 日～3 月 28 日(期間内の 10～11 日間)
体験活動	1 年	10 月 22 日～12 月 10 日 週 1 回 計 8 回
体験実習 a II	2 年	8 月 26 日～8 月 30 日 (保育所のみ) 9 月 2 日～9 月 6 日

- b. 「教職実践演習」では、学生たちの 4 年間の学びの集大成として保育や教育について学

んできた内容や実習等での経験をふりかえることを中心に、卒業後の保育職や教職に役立つ内容を担当教員がそれぞれの専門分野—心理学系、社会学系、小学校分野、保育分野からアプローチし、より高度で実践的な講義を行いました。

また、外部から講師を招聘し、「平和」など教員として理解しておくべき普遍的なテーマや保育現場の実情についての話など、よりリアルな学びを提供しました。

c. 学生のスキルアップのための課外授業として、「アグネス講座」を開催しました。「簡単ステップで身体を動かして楽しもう」や「魅力的な板書を追求しよう」「英語の童謡やゲームを覚えましょう」など多くの講座を開催しました。

d. 小学校教員・公立保育職の採用試験対策として「アグネス塾」を、平安女学院大学後援会の助成金を得て開催し、教師として求められる資質や実践的な指導力を育成する場となっています。

7・8・10月の3期に分けた東京アカデミー講師による全11回の筆答対策（数的推理・判断推理・国語・数学・理科・英語）、5月から2月までに面接や場面指導、模擬授業対策など全200回の講座を開設しました。

e. 幼児教育研究センターでは、6月16日(日)に童謡歌詞コンクールの優秀者を表彰しました。8月23日(金)には、高槻城公園芸術文化劇場で「乳幼児期に造形を通じて育む力—子どもたちがよるこぶ実技と理論—」と題し、発達に即した幼児の造形についての講演会を行いました。

11月2日(土)の大学祭にブースを出して多くの地域の人たちと交流ができました。

11月22日(金)、今年度の研究テーマである「造形と脳波の研究」(聖公会保育研究補助金)についての実験保育を行い、2025年3月には幼児教育研究センター紀要2号を発刊しました。

(2) 地域連携、産官学連携、国際交流

ア. 高槻市地域子育て支援拠点事業ひろば型「どんぐりの森」(2024年度)

「どんぐりの森」は高槻市からの委託事業です。主に0歳から3歳くらいの乳幼児とその保護者が、いつでも気軽に利用でき、うち解けた雰囲気の中で語ったり相談したり、学びあったりする交流の場です。地域の子育て中の親子が、安心して子育て、子育てができる環境を整備することで、地域の子育て支援機能の充実を図ることも目的としています。

(単位：日、組、人)

月	開館 日数	組数	利用者 (子供)	利用者 (大人)	月	開館 日数	組数	利用者 (子供)	利用者 (大人)
4	21	131	146	133	10	22	246	301	250
5	20	140	156	143	11	20	175	219	176
6	20	186	218	191	12	20	196	246	198
7	22	186	217	187	1	19	209	258	211
8	21	169	225	177	2	18	159	197	161
9	19	197	238	198	3	20	218	283	223

イ. 大学祭

(ア) 京都キャンパス

10月26日(土)に行った大学祭では、地域連携をしている市や団体に出展していただきました。学生の模擬店の出店も多く、ステージ発表では高槻キャンパスからの出演もあり、学生主体の大学祭となりました。

(イ) 高槻キャンパス

11月2日(土)に行った大学祭では、荒天にもかかわらず多くの人出がありました。

学生の模擬店に加え地域の方が出店するエリアも作り、幅広い年代の方に楽しんでもらえるよう工夫しました。ステージでも地域の方に発表してもらう時間を作りました。

キッチンカーの出店をはじめ、大学の各センター実施のワークショップなどを実施しました。また、平安女学院高校のクラブの出演もあり、高大連携という意味で有意義な試みとなりました。

エ. クリスマス・カンタータ

12月7日(土)に高槻キャンパスのチャペルにて、2024年度のクリスマス・カンタータを開催しました。

クリスマス・カンタータとは、キャスト・聖歌隊・運営スタッフなどを学生・教職員などが担いイエス・キリストのご降誕をお祝いする、本学の宗教行事です。

教会という荘厳な雰囲気の中、イエス・キリストの降誕物語を歌とハンドベルなどの演奏で彩りました。地域住民の皆様や保護者の方々などにご来場いただき、クリスマス・カンタータを執り行うことができました。

オ. イルミネーション

(ア) 京都キャンパス

テーマは「未来に輝く光の海」とし、11月22日(金)に点灯式を行いました。

京都市、三菱自動車工業株式会社、三菱自動車販売株式会社の協力を得て、12月12日(木)～14日(土)の3日間は太陽光でつくった再生エネルギー100%の電気だけでイルミネーションを灯しました。また、今年度は親子連れがクリスマスリースを作って、再生エネルギーでライトアップをするワークショップを開催しました。

(イ) 高槻キャンパス

11月18日(月)にイルミネーションの点灯式を行いました。

「Twinkling stars～星のようにきらきら輝いて～」をテーマとし、キャンパスのメインストリートとバス停に加え、中庭にもオブジェを多数設置しキャンパス内を彩りました。

12月27日(金)までの点灯期間中に近隣住民など500名を超える来場者がありました。

カ. 地域連携

(ア) 国際観光学部の地域連携

国際観光学部は京都御苑(御所)に近接する京都キャンパスが学びの場であり、観光都市・京都に立地する観光系の学部ということもあって、京都市をはじめとした自治体と連携協定を締結しています。地域の中で観光を学ぶことは、学生にとって貴重な学習機会となるだけでなく、その地域の活性化にも資するものと捉え、積極的に連携を行っています。主な連携として9月14日(土)から16日(祝)までの3日間実施した京都市動物園の夜間開園ボランティア、四条大船鉾保存会との連携事業による粽作りや7月21日(日)から23日(火)の後祭り宵山ちまき授与、森の京都DMO・京都府南丹局からの委託によるSNS発信や綾部・亀岡でのイルミネーションなどを実施しました。

(イ) 子ども教育学部の地域連携

子ども教育学部は、教職・保育養成機関としての学びを活かして特に地域の子どもの対象とした連携を行っています。主な連携として、萩谷スポーツフェスティバル、高槻市民スポーツ祭などへのボランティア参加や夏休み子ども大学の開催があります。2024年度の夏休み子ども大学は「ここは壺やさん!? 壺に絵を描こう」という企画で小学生とその保護者17組が参加しました。

その他に、2024年度は子ども居場所づくり「もざいく@へいあん」という事業を高槻ロータリークラブとの共催で実施しました。地域の子どもの居場所を運営することで地域の教育力、および、地域のつながりや多世代間交流、活性化に寄与すること、本学学生がボランティアとして参加することで地域の課題への気づきや世代間交流の重要性、自ら

が地域の担い手として主体的に関わっていく行動力を身につけてもらうため、その活動を支援することを目的としたものです。事業としては小学生 19 名が参加した本学高槻キャンパスバスツアー見学会、講演会などを実施しました。

(3) 就職支援・卒業後の状況（就職・進学）

ア. 2024 年度進路実績

(単位：人、%)

学科	卒業者数 (a) ※	進学者(大 学院)(d)	就職 希望者(b)	就職者数 (c)	未内定数 (b)-(c)	就職率 (c)/(a)-(d)
国際観光学部	86	2	76	76	0	90.5
子ども教育学部	66	0	62	62	0	93.9
大学合計	152	2	138	138	0	92.0

※卒業者数には、留年卒業・春学期卒業生を含む（国際観光学部 6 人、子ども教育学部 2 人）

イ. 就職状況

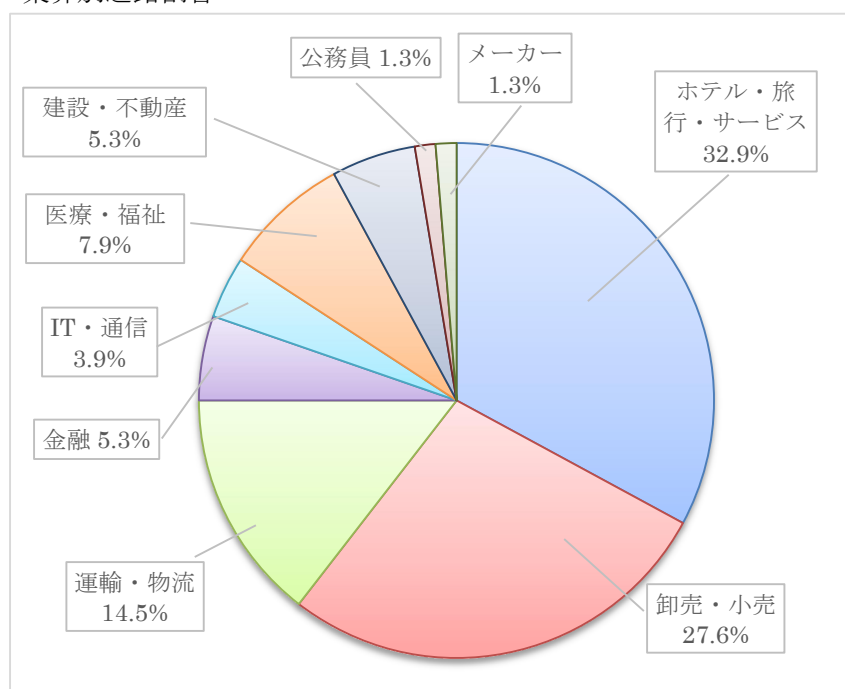
本学では、教員・職員が各学生の進路希望や適性を個別に把握し、多様な学生に適した支援を提供するため、全学的な支援体制を整えています。

各学部・学科の特性に応じた進路ガイダンスや就職講座、各種試験対策講座に加え、近年の就職活動の動向を踏まえた実践的なプログラムも充実させました。インターンシップを通じた早期選考や長期的な活動が一般化している中で、学生が適切なタイミングで進路を選択できるよう、個別支援やタイムリーな情報提供に注力しています。多様化する選考方式に対応するための支援も拡充しています。

(ア) 国際観光学部

観光・サービス業界における人材需要の高まりを背景に、ホテル・旅行・空港サービスを志望する学生が増加し、接客力やホスピタリティを活かせる企業への就職が多数決定しました。また、卸売・小売や運輸・物流を中心に、進路の選択肢は多岐にわたり、医療・福祉、金融、建設・不動産、IT・通信などの各専門分野、さらには地方公務への就職も見られました。学生一人ひとりの関心や強みが反映された多様な業界への就職実績となっています。

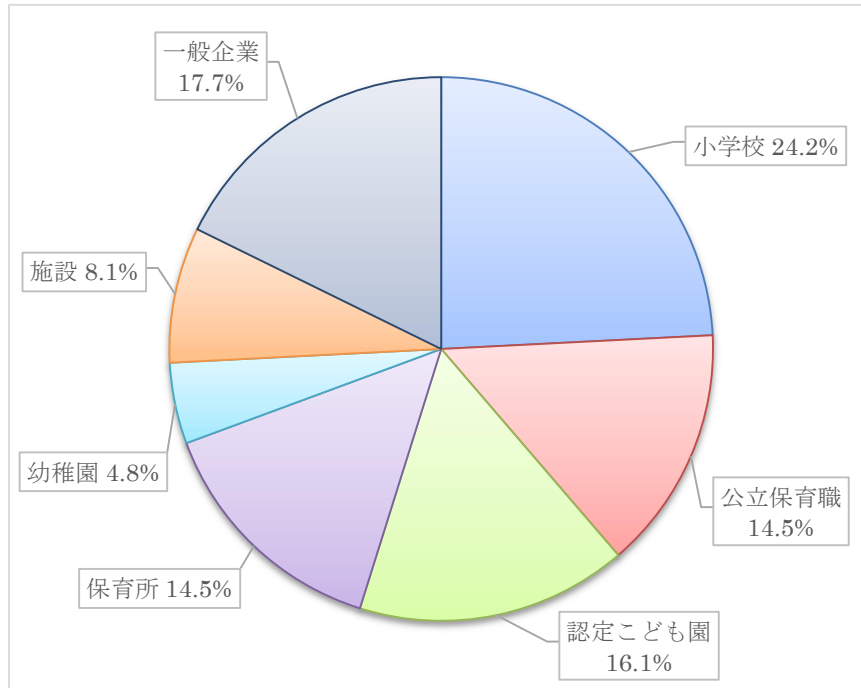
・業界別進路割合



(イ) 子ども教育学部

小学校採用試験合格数は9名で、大阪府3名、大阪市2名、京都府1名、滋賀県1名、川崎市2名です。また、高槻市小学校講師が4名、茨木市小学校講師1名、吹田市小学校講師が1名です。公立保育職は、高槻市2名、大山崎市1名、吹田市1名、京都市1名、草津市1名、栗東市1名、有田川町1名、大津市1名(会計年度任用職員)の合計9名で、他に私立保育職、企業に就職決定しました。

・業界別進路割合



(4) 現状の課題と今後の取り組み

ア. 本学では、2020年度より入学者数の減少が続いています。

2025年度入試においては、前年度からの取り組みである通常授業を見学する形式でのオープンキャンパスの開催、通信制高校への訪問活動の強化、外国人留学生の受入れなどに取り組みました。

しかしながら、入学者数(1年次生)は75名と前年度の113名に届きませんでした。2026年度入試に向けて、学生確保を本学の最重要課題として取り組んでいます。

イ. 子ども教育学部の中途退学者は、入学者数の10.5%となり前年度比+3.2%悪化して、人数も4名から8名に倍増しています。

これについては、個別指導を見直し、中途退学者数の半減を目指して努力します。

(5) 資料編

ア. 卒業者数 (2025 年 3 月 31 日現在)

(単位：人、%)

学科	2021 年度 入学者数	卒業者		留年者		中途退学者	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
国際観光学科	88	80	90.9	3	3.4	5	5.7
子ども教育学科	76	64	84.2	4	5.3	8	10.5
大学計	164	144	87.8	7	4.3	13	7.9

※国際観光学科の 2021 年度入学者には 2023 年 4 月の編入学者 12 名を含む。

※子ども教育学科の 2021 年度入学者には 2023 年 4 月の編入学者 1 名を含む。

イ. 免許・資格等取得者数 (2025 年 3 月 31 日現在)

子ども教育学部子ども教育学科

(単位：人)

幼稚園教諭一種免許状	小学校教諭一種免許状	中学校教諭一種免許状	保育士資格
58	35	6	46

ウ. 授業料・入学金等 (2024 年 4 月 1 日現在)

入学金 (入学時のみ)		250,000円
授業料 (年額)		980,000円
教育充実費	(1 年次年額)	170,000円
	(2 年次以降年額)	280,000円
入学検定料		30,000円
	センター試験利用型	5,000円
休学在籍料	(1 年休学)	60,000円
	(半年休学)	30,000円

3. 中学校・高等学校

(1) 中高の現況と概要

社会的要請およびキリスト教学校教育の使命に基づき開設した、高等学校全日制普通科単位制コース「ミルトス」は順調なスタートを切り、生徒たちの成長には目を見張るものがありました。

また、食育と食品ロス削減を兼ね試みた希望制給食制度は、保護者からも喜ばれ席数確保を心配するほど申込数が伸びています。

昨年度より導入を検討してきた制服、自由服選択制については、生徒会・保護者会の間で協議を重ね、2025年度からの導入が決定されました。

新しい学びのためのカリキュラム改訂に向けた委員会は、中学校の「深い学びスクール」の内容・担当者を決定し、2025年度より始動させることを決定しました。高校大幅選択制カリキュラムについても、教科主任会議を経ながら、概要が決まりつつあります。

スクールミッション・スクールポリシーに基づき平安女学院教育の充実発展の改革を推進しています。

(2) 主な教育活動

ア. 主な行事

(ア) 体育祭 2024年6月7日(金)

コロナ禍以降中学校、高等学校別々で開催していた体育祭を合同で開催し、550名を超える保護者の来場がありました。

(イ) 文化祭 9月20日(金)～21日(土)

文化祭は、中学、高校生徒会が企画・運営し、開催しました。「150周年の絆～青春に華を添えて～」をテーマに、クラスのステージ発表、クラブ、有志の展示、発表、保護者会の企画等を行いました。

また、輪島朝市に出張出店いただき、能登の物販を通して被災地支援活動を行いました。オープンスクールを同時に開催し、1,300名を超える来場者がありました。

(ウ) 人権学習会・収穫感謝礼拝 11月20日(水)

人権学習会を開催し、愛農学園高等学校教頭泉川道子先生を講師に迎え、「いのちを育み、いのちをつなぐ」教育について人権の観点から講演いただきました。

神から受けた恵みをまわりの人と共にわかちあうことの大切さを知り、愛と奉仕の心を育てる機会となりました。

収穫感謝礼拝も同時に開催し、神の恵みによって、いのちが与えられ、今食べることができ、生かされていることに感謝しました。

(エ) 第91回クリスマス・カンタータ 12月21日(土)

内容や演出を一部変更して、新しい形で実施しました。今年も一般の方にも公開し、約600名の来場者がありました。

イ. 修学旅行・研修旅行

(ア) 中学3年研修旅行 10月29日(火)～11月1日(金)

長崎、熊本に行き、現地での体験や見聞を通して、平和、防災、人権について学びました。

(イ) 高校2年修学旅行 10月27日(日)～31日(木)

信州方面に行きました。文化財や戦争遺跡を見学し、歴史に触れながら、平和の大切さや命の尊さを学び、清泉寮に2日滞在しました。

(ウ) 高校幼児教育進学コースイタリア研修 10月21日(月)～27日(日)

高校幼児教育進学コースでは、今年度からイタリア研修を開始しました。現地の幼児教育施設や学校を見学、交流し、普段、学校では体験できない貴重な経験を得ることができました。

ウ. 制服・自由服選択制導入の議論

18歳成人を見据え、生徒の主体性を育て、自分で判断することの大切さを身につけることを考慮し、昨年度より生徒、保護者、教職員で議論を重ね、2025年4月より、高等学校で導入することを決定しました。各自がパブリックスペースでの「良識の範囲」を理解し、実施していきます。

エ. 姉妹校交流・学校間交流

(ア) オーストラリア・ウルスラカレッジ訪問 7月18日(木)～8月1日(木)

オーストラリア・ウルスラカレッジに希望生徒20名が訪問し、現地でのホームステイを含め、異文化交流を深めました。

(イ) タイ・チェンマイクリスチャンスクール来校 10月19日(土)～22日(火)

タイのチェンマイクリスチャンスクールの生徒9名、教職員3名が来校し、本校生徒宅でのホームステイ、授業参加等、様々な交流を行いました。

(ウ) 姉妹校拡大の推進については、新たにドイツ・ベトナム・フィリピンに計4校の姉妹校ができ、さらに交流校の拡大を目指すためにイタリア・モンゴルと交渉を続けています。

オ. ジュニア教室（英語・新体操）、地域連携活動

引き続き小学生対象のジュニア教室を開催しました。体操教室は小学1年生から、英語教室は小学4年生からを対象に、土曜日に月3回程度教室を開催しました。

地域連携活動では、夏祭りなどの地域行事や市町村の取り組みなどに生徒が参加し、地域の皆さんと交流しました。11月には「秋まつり」を本校で開催し、地域の方など1,000名を超える来場がありました。

カ. 同窓生への取り組み

創立150周年を迎えるにあたり、これまでに卒業された同窓生への感謝の気持ちを胸に、様々な取り組みを開始しました。

- ・同窓誌「からすましもだちうり」発行
- ・同窓生の集い開催 10月5日(土)
- ・はたちのお祝い開催（同窓会主催） 2025年1月12日(日)

キ. 生徒の学外での活躍

中学3年 清水さらさんが、女子スノーボードハーフパイプ種目において、ワールドカップやアジア大会で優勝し、世界でトップクラスの成績を収めました。2026年冬季オリンピックの出場を目指しており、学校としても様々な場面で応援をしています。

(3) 進路について

(ア) 立命館進学コースの79人が立命館大学・立命館アジア太平洋大学へ進学しました。

(イ) 平安女学院大学への進学者は11人でした。（国際観光学部4人、子ども教育学部7人）

(4) 現状の課題・これからの取り組み

教科教育の充実発展のために全教科において「新しい学び」の実践を推進し、生徒の学び

への喜びを充足させること、スクールポリシーに則り、未来社会が求めている学びにふさわしい教育課程の改編を行います。

新コース「ミルトス」については、設置趣旨を踏まえた教育内容を遂行し、2期生の教育充実と、3期生募集の広報活動の強化を図ります。なお、幼児教育コースの海外研修を継続し、募集活動につなげていきます。

(5) 資料編

ア. 卒業生数 (2025 年 3 月 31 日)

高等学校コース	3 年	
	クラス数	人数
アグネス国際進学	2	42
エキスパート特進		3
立命館進学	2	80
幼児教育進学	1	11
合 計	5	136

中学校コース	3 年	
	クラス数	人数
グローバル・ステップ	2	15
立命館・ステップ		32
合 計	2	47

イ. 卒業生の進路一覧 (2025 年 3 月 31 日現在)

高等学校 進 路		コース				計
		アグ ネス	E S	立命館	幼児 教育	
進 学	大 学	36	3	79	11	129
	短期大学	1	0	0	0	1
	専門学校	1	0	0	0	1
就 職		2	0	0	0	2
そ の 他		2	0	1	0	3
合 計		42	3	80	11	136

中 学 校 進 路		人数
進 学	平安女学院高校	45
	他 高校	2
	その他	0
合 計		47

ウ. 生徒納付金 (2024 年 4 月 1 日現在)

種別	中学校	高等学校	備考
入 学 金	100,000 円	100,000 円	入学時
施 設 費	20,000 円	20,000 円	
授 業 料	580,000 円	580,000 円	1～3年次年額
教育充実費	175,000 円	175,000 円	

4. 大学附属こども園

(1) 現状と概要

ア. 定員と実員 (2025 年 3 月 31 日現在)

() 内は定員 (単位: 人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
1 号認定	—	—	—	23 (23)	23 (23)	20 (23)	66 (69)
2 号認定	—	—	—	12 (12)	12 (12)	12 (12)	36 (36)
3 号認定	6 (6)	12 (12)	12 (12)	—	—	—	30 (30)
合計	6 (6)	12 (12)	12 (12)	35 (35)	35 (35)	32 (35)	132 (135)

イ. 保育・教育時間 (2024 年 4 月 1 日現在)

	1 号認定	2 号認定	3 号認定
開園時間	7:30~19:00		
教育時間	月・火・木・金	9:00~13:30	—
	水	9:00~11:30	—
保育標準時間 (11 時間利用)	—	7:30~18:30 ※18:30 以降は延長保育利用	
保育短時間 (8 時間利用)	—	8:00~16:00 8:30~16:30 9:00~17:00 ※選択時間以外は延長保育利用	
休日	土・日・祝・長期休業日 (春・夏・冬休み) 年末年始		日・祝・年末年始

ウ. 保育・教育内容

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に則り、本学の建学の精神であるキリスト教を基本として、乳幼児の健やかな成長を願い、遊びと生活を通して、乳幼児期にふさわしい体験が豊富にできるように教育・保育を行っています。

エ. 行事

- (ア) 入園式…2024 年 4 月 6 日(土)にこども園リズム室にて入園式を行いました。
- (イ) 誕生日会…乳児は月毎に、幼児は 3 か月に一度実施し、お祝いしました。
- (ウ) 花の日礼拝…6 月 13 日(木)に園児の持ち寄った花をリズム室に飾り、礼拝をしました。
- (エ) デイキャンプ…7 月 22 日(金)に 5 歳児が園内で行ないました。
- (オ) 運動会…10 月 26 日(土)に大学グラウンドで、全園児が集い運動会を行いました。
- (カ) 収穫感謝礼拝…10 月 30 日(水)に持ち寄った果物や野菜を捧げ、神様のお恵みに感謝し礼拝をしました。例年、この翌日に 5 歳児が捧げた野菜を調理するのですが、今年は、感染症流行の兆しが見られたため、2025 年 1 月 16 日(木)に延期しました。5 歳児が皮をむいて切った野菜は、給食のお味噌汁の具材となり、美味しく頂きました。
- (キ) クリスマス礼拝…12 月 14 日(土) 5 歳児がページェントを、16 日(月)には大学教員によるサンタクロースを招いて祝会、同日夕方に燭火礼拝及びキャロリングを行いました。
- (ク) 卒園式…2025 年 3 月 15 日(土)に、こども園リズム室にて卒園式を行いました。

オ. 給食…業務委託した業者が園内厨房で調理した給食を提供しています。

カ. 感染症対策

新型コロナウイルス感染症の罹患者についてはほとんどありませんが、インフルエンザや感染性胃腸炎等が園内で広がる時期がありました。

感染の広がりを最小限に抑えるため、園内の消毒を強化したり、保育経験の機会を保証しながらも、行事の時期や内容を見直すなどの対応をしました。

また、必要に応じて保健所との連携を取りながら対策を行いました。

(2) 地域交流と子育て支援

(ア) 高槻アート博覧会…高槻アート博覧会巨大絵画アーケード展に「希望に向かって出発だ!!」というタイトルで出展し、初めて大賞を受賞しました。

(イ) 未就園児親子登園クラス(てんしぐみ)…5組ずつの親子(計15組)が隔週水・金曜日に登園しました。(料金:入会金3,000円、会費1回500円)

(ウ) ミスブール記念ホーム訪問…花の日礼拝翌日の6月14日(月)に、5歳児が訪問しました。2組に分かれ、デイサービス利用の方と入所されている方に歌を披露し、花束をお渡ししました。

(エ) 北あぶの文化展…2025年3月2日(日)阿武野コミュニティセンターにて行われた文化展に、巨大絵画を出展しました。

(3) 大学・高校との交流

子ども教育学科及び平安女学院高校幼児教育コースより、実習生を受け入れました。また、大学生の卒業論文調査依頼を受け、協力しました。

(4) 園外保育…幼児は5月23日(木)に萩谷総合公園へ、12月19日(木)にニフレルへ出かけました。

(5) 預かり保育…2024年度は、年間延べ2,229人が利用しました。

(6) 今後の課題・これから取り組む事業の概要

子どもたちや保護者が安心できる場所となるよう、保育者の配置及び環境整備の検討を継続して進めていきます。夏の気温上昇時に対応できるよう、オーニングの設置を行い、安全に過ごすことができるよう整備を行います。

(7) 資料編

ア. 保育料 (2024年4月1日現在)

入園事務手数料	25,000円(1号・2号)
入園検定料	7,000円(1号)
保育料(月額)	高槻市の定める保育料(1号・2号は無償)
特定保育料(月額)	7,000円(3歳児) 5,000円(4・5歳児)

イ. 給食費 (2024年4月1日現在)

認定区分	主食費	副食費	備考
1号認定子ども	1,760円/月	4,000円/月	8月含む
2号認定子ども	2,000円/月	4,500円/月	—
3号認定子ども	—	—	保育料に含む

ウ. 預かり保育料 (2024年4月1日現在)

1時間300円、月極利用17,000円(8月のみ22,000円)

エ. 保護者への補助金

保育料は、1号・2号無償、3号は住民税非課税世帯のみ無償です。また、年収360万円未満相当世帯・小学3年生までの第3子以降の子については、副食費が免除されます。なお、新2号認定を受けた場合は、預かり保育料1日450円(最大11,300円)まで無償です。

V 財務の概要

1. 2024 年度の決算内容

(1) 「事業活動収支計算書」(表 1) …企業会計では「損益計算書」に該当します。

ア. 教育活動収支差額…△259 百万円の赤字です。

(ア) 教育活動収入は 1,823 百万円で前期比 66 百万円減少しました。

a. 教育活動収入の 60%を占める「学生生徒等納付金」は、1,096 百万円(前期比△66 百万円)となりました。これは学生生徒数が 1,201 人(前期比△84 人)となったためです。

b. 教育活動収入の 33%を占める「経常費等補助金」は、598 百万円(前期比 2 百万円)となりました。これは、国庫補助金で前期比 8 百万円減少したものの、こども園に対する補助金が 9 百万円増加となった為、前期比 2 百万円の増加となったものです。

なお、国庫補助金には、修学支援「授業料等減免費交付金」の補助金が 50 百万円含まれています。

(イ) 教育活動支出は、2,082 百万円で前期比 122 百万円増加しました。

a. 人件費は 1,065 百万円で前期比 54 百万円の減少となりました。

教職員の人件費が 998 百万円と前期比 51 百万円減少したことによりです。

b. 教育研究費は、659 百万円で前期比 27 百万円の増加となりました。

報酬・委託・手数料が 14 百万円、奨学費が 18 百万円増加しました。

c. 管理経費は、357 百万円で前期比 148 百万円増加しました。これは、不動産売却に伴う手数料等支払 160 百万円によるものです。

イ. 教育活動外収支差額…△3 百万円の赤字(前期比 9 百万円改善)です。

「借入金等利息」は、金融機関借入金利息と学校債利息です。

ウ. 経常収支差額…経常的な収支状況を表し、△261 百万円の赤字です。

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した額で、学校法人の運営状況を示す基本指標となります。実態は、一時的な費用支出 160 百万円がありますので、△101 百万円の赤字です。

エ. 特別収支差額…臨時的な収支状況を表し、3,871 百万円の黒字です。

資産売却差額 3,880 百万円を計上しています。

オ. 基本金組入前当年度収支差額…3,610 百万円(前期比 3,734 百万円の増加)の黒字です。

(2) 「資金収支計算書」(表 2) …企業会計では「キャッシュフロー計算書」に該当します。

ア. 収入の部…7,245 百万円の収入でした。資産売却収入等があり、前期比 5,558 百万円増加しました。

イ. 支出の部…4,523 百万円の支出でした。借入金返済支出は 1,729 百万円です。借入金等収入が 829 百万円でしたから、有利子負債は差引で 900 百万円減少しました。

「事業活動収支計算書」(表1) 2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:千円)

		科 目	2024年度 予算	2024年度 決算	予算との差異	2023年度 決算	2023年度との差異
			①	②	①－②	③	②－③
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,084,825	1,095,642	△ 10,817	1,161,693	△ 66,051
		手数料	9,530	10,802	△ 1,272	12,067	△ 1,265
		寄付金	13,650	17,555	△ 3,905	18,400	△ 845
		経常費等補助金	541,267	597,715	△ 56,448	595,683	2,032
		国庫補助金	106,000	108,506	△ 2,506	116,948	△ 8,442
		地方公共団体補助金	300,267	327,037	△ 26,770	329,220	2,183
		施設型給付費	135,000	162,173	△ 27,173	149,515	8,636
		付随事業収入	24,600	21,526	3,074	22,424	△ 897
		雑収入	46,491	79,887	△ 33,396	79,001	886
		教育活動収入計	1,720,363	1,823,127	△ 102,764	1,889,268	△ 66,141
	支出の部	人件費	1,006,250	1,065,040	△ 58,790	1,119,448	△ 54,407
		教員人件費	612,601	626,182	△ 13,581	657,328	△ 31,146
		職員人件費	359,299	372,298	△ 12,999	392,047	△ 19,750
		役員報酬	5,600	5,742	△ 142	5,815	△ 73
		退職金	28,750	60,819	△ 32,069	64,258	△ 3,439
		教育研究経費	650,645	659,454	△ 8,809	631,987	27,467
		(うち、減価償却額)	(208,750)	(194,419)	(14,331)	(198,328)	(△ 3,909)
		管理経費	343,191	357,259	△ 14,068	208,810	148,449
		(うち、減価償却額)	(24,470)	(26,455)	(△ 1,985)	(21,132)	(5,323)
		徴収不能額等	100	0	100	0	0
		教育活動支出計	2,000,186	2,081,753	△ 81,567	1,960,245	121,509
教育活動収支差額		△ 279,823	△ 258,626	△ 21,197	△ 70,977	△ 187,649	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金収入	2,074	3,894	△ 1,820	73	3,822
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	2,074	3,894	△ 1,820	73	3,822
	支出の部	借入金等利息	6,751	6,754	△ 3	11,913	△ 5,159
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	6,751	6,754	△ 3	11,913	△ 5,159
教育活動外収支差額		△ 4,677	△ 2,860	△ 1,817	△ 11,840	8,981	
経常収支差額 (A)		△ 284,500	△ 261,486	△ 23,014	△ 82,817	△ 178,669	
特別収支	収入の部	資産売却差額	3,880,000	3,879,830	170	0	3,879,830
		その他の特別収入	888	8,879	△ 7,991	5,684	3,195
		現物寄付	888	197	691	1,229	△ 1,032
		施設設備補助金	0	0	0	0	0
		過年度修正額	0	8,682	△ 8,682	4,455	4,227
	支出の部	特別収入計	3,880,888	3,888,709	△ 7,821	5,684	3,883,025
		資産処分差額	1,000	16,631	△ 15,631	46,949	△ 30,318
		資産除却損	0	2,814	△ 2,814	40,758	△ 37,944
		施設処分差額	1,000	13,818	△ 12,818	6,191	－
		その他の特別支出	0	615	△ 615	0	615
特別収支差額 (B)		3,879,888	3,871,463	8,425	△ 41,266	3,912,728	
【予備費】 (C)		0		0			
基本金組入前当年度収支差額 (A+B-C)		3,595,388	3,609,977	△ 14,589	△ 124,083	3,734,060	
基本金組入額合計		△ 30,000	0	△ 30,000	△ 86,136		
当年度収支差額		3,565,388	3,609,977	△ 44,589	△ 210,218		
前年度繰越収支差額		△ 7,016,027	△ 7,101,670	85,643	△ 6,891,451		
基本金取崩額		0	258,487	△ 258,487	0		
翌年度繰越収支差額		△ 3,450,639	△ 3,233,206	△ 217,433	△ 7,101,670		

(参考)					
事業活動収入計	5,603,325	5,715,730	△ 112,405	1,895,024	3,820,706
事業活動支出計	2,007,937	2,105,754	△ 97,817	2,019,107	86,646

経常収入計	1,722,437	1,827,022	△ 104,585	1,889,341	△ 62,319
経常支出計	2,006,937	2,088,508	△ 81,571	1,972,158	116,350

区 分		2024年度 予算	2024年度 決算	2020年度 全国平均 (医療費を除く)	2023年度 決算
人件費比率	人件費 経常収入	58.4%	58.3%	51.8%	59.3%
教育研究費比率	教育研究経費 経常収入	37.8%	36.1%	35.2%	33.5%
管理経費比率	管理経費 経常収入	19.9%	19.6%	8.2%	11.1%
経常収支差額比率	経常収入計-経常支出計 経常収入	△16.5%	△14.3%	4.6%	△4.4%
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	64.2%	63.2%	5.2%	△6.5%

資金収支計算書（表2） 2024年4月1日から2025年3月31日まで （単位：千円）

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算 ①	決 算 ②	差 異 ①－②	科 目	予 算 ①	決 算 ②	差 異 ①－②
学生生徒等納付金収入	1,084,825	1,095,642	△ 10,817	人 件 費 支 出	1,006,250	1,065,040	△ 58,790
手 数 料 収 入	9,530	10,802	△ 1,272	教 育 研 究 経 費 支 出	441,895	464,621	△ 22,726
寄 付 金 収 入	13,350	17,140	△ 3,790	管 理 経 費 支 出	318,721	331,418	△ 12,697
補 助 金 収 入	541,267	597,715	△ 56,448	借 入 金 等 利 息 支 出	6,751	6,754	△ 3
資 産 売 却 収 入	4,630,000	4,630,000	0	借 入 金 等 返 済 支 出	911,900	1,728,900	△ 817,000
付随事業・収益事業収入	24,600	21,526	3,074	施 設 関 係 支 出	47,320	52,394	△ 5,074
受取利息・配当金収入	2,074	3,468	△ 1,394	設 備 関 係 支 出	10,340	15,589	△ 5,249
雑 収 入	45,491	83,426	△ 37,935	資 産 運 用 支 出	795,290	795,290	0
借 入 金 等 収 入	829,000	829,000	0	そ の 他 の 支 出	50,000	152,098	△ 102,098
前 受 金 収 入	163,000	137,020	25,980	資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 22,000	△ 89,949	67,949
そ の 他 の 収 入	22,200	37,649	△ 15,449	翌年度繰越支払資金	4,093,369	3,207,350	886,019
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 190,000	△ 218,381	28,381				
前年度繰越支払資金	484,499	484,499	△ 0				
収 入 の 部 合 計	7,659,836	7,729,505	△ 69,669	支 出 の 部 合 計	7,659,836	7,729,505	△ 69,669

(3) 「貸借対照表」（表3）

ア. 資産の部

前年度比 2,608 百万円増加し、11,070 百万円となりました。有形固定資産の売却に伴い、現預金が 2,723 百万円増加したことによるものです。

イ. 負債の部

借入金△870 百万円、学校債△30 百万円等の減少により、前年度比 1,002 百万円減少し、1,002 百万円となりました。金融機関借入は、ゼロとなりました。

ウ. 純資産の部（基本金＋繰越収支差額）

前年度末に比べ、3,610 百万円増加し 10,068 百万円となりました。

2024 年度 貸借対照表（表3） 2025 年 3 月 31 日 （単位：千円）

資 産 の 部				負債及び純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産	11,069,962	8,462,046	2,607,916	負債	1,001,713	2,003,775	△ 1,002,061
固定資産	7,808,265	7,932,702	△ 124,437	固定負債	640,608	1,531,068	△ 890,460
有形固定資産	6,880,578	7,789,008	△ 908,430	長期借入金	0	810,000	△ 810,000
土地	2,617,791	3,367,961	△ 750,170	学校債	453,100	528,500	△ 75,400
建物	3,299,444	3,440,046	△ 140,602	退職給与引当金	187,508	192,568	△ 5,060
その他の有形固定資産	963,343	981,001	△ 17,658	流動負債	361,105	472,706	△ 111,601
特定資産	120,000	120,000	0	短期借入金	0	60,000	△ 60,000
その他の固定資産	807,686	23,694	783,992	1年以内償還予定学校債	87,400	41,900	45,500
流動資産	3,261,697	529,344	2,732,353	前受金	137,020	175,344	△ 38,325
現金預金	3,207,350	484,499	2,722,851	その他の流動負債	136,686	195,462	△ 58,776
未収入金	43,037	36,446	6,590	純資産	10,068,249	6,458,272	3,609,977
その他の流動資産	11,311	8,399	2,912	基本金	13,301,454	13,559,942	△ 258,487
				第1号基本金	13,162,454	13,420,942	△ 258,487
				第4号基本金	139,000	139,000	0
				繰越収支差額	△ 3,233,206	△ 7,101,670	3,868,464
合 計	11,069,962	8,462,046	2,607,916	合 計	11,069,962	8,462,046	2,607,916

(4) 「財産目録」(表4)

2024年度の「正味財産」(「資産総額」－「負債総額」)は、10,068百万円となり、前年度末の正味財産6,458百万円に対し、3,610百万円増加しました。また、有利子負債(「借入金」＋「学校債」)は、前年度末1,440百万円に対し、本年度は541百万円となり、899百万円を圧縮することができました。

財産目録 (表4)

科 目		2025年3月31日	
Ⅰ. 資 産 額			
1. 基本財産			
	土地	98, 548. 10㎡	2, 617, 791千円
	建物	42, 910. 03㎡	3, 299, 444千円
	その他の基本財産		963, 343千円
基本財産 計			6, 880, 578千円
2. 運用財産			
	現金及び預金		3, 207, 350千円
	引当特定預金		120, 000千円
	未収入金		43, 037千円
	その他の運用財産		818, 997千円
運用財産 計			4, 189, 384千円
資 産 総 額			11, 069, 962千円
Ⅱ. 負 債 額			
1. 固定負債			
	長期借入金		0千円
	学校債		453, 100千円
	退職給与引当金		187, 508千円
固定負債 計			640, 608千円
2. 流動負債			
	短期借入金		0千円
	1年以内償還予定学校債		87, 400千円
	前受金		137, 020千円
	その他の流動負債		136, 686千円
流動負債 計			361, 105千円
負 債 総 額			1, 001, 713千円
Ⅲ. 正 味 財 産 (資産総額－負債総額)			10, 068, 249千円

(5) 監事の監査報告書

監事監査報告書	
令和7年5月27日	
学校法人 平安女学院	
理 事 会 御 中	
評 議 員 会 御 中	
監事 竹中 芳晴 監事 西山 伸一	
私たちは、学校法人平安女学院の監事として、旧私立学校法(令和5年5月8日施行)第37条第3項及び学校法人平安女学院旧舊附行為(令和5年7月28日施行)第14条の規定に基づき、学校法人平安女学院の令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行について監査した。	
私たちは監査に当たり、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施した。	
監査の結果、私たちは、学校法人平安女学院の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは旧舊附行為に違反する重大な事実はないものと認める。	

2. 財務状況の推移

(1) 経常収支差額の推移

経常収支差額は、前年度比△178 百万円と悪化し、△261 百万円の赤字となりました。学生生徒等納付金等の減少により経常収入が△62 百万円減少しました。反面、経常支出が不動産売却に伴う支払手数料等により、116 百万円増加したことから△261 百万円の赤字となりました。

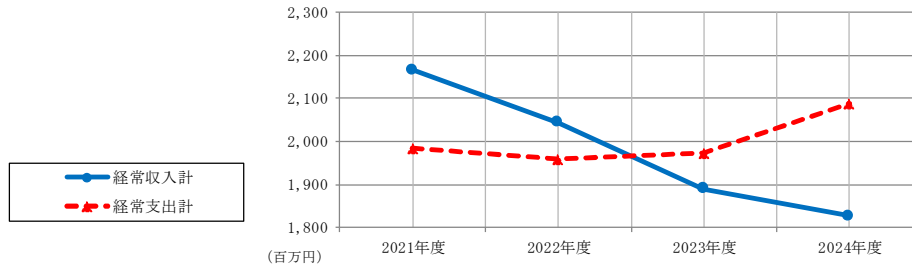
(単位：百万円)

科 目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年比
教育活動収支	教育活動収入					
	学 納 金	1,453	1,295	1,162	1,096	△ 66
	寄 付 金	13	10	12	18	6
	補 助 金	609	603	596	598	2
	そ の 他	91	136	119	111	△ 8
	計	2,166	2,044	1,889	1,823	△ 66
	教育活動支出					
	人 件 費	1,105	1,083	1,119	1,065	△ 54
	教 育 研 究 費	651	644	632	659	27
	管 理 経 費	210	216	209	357	148
教育外収支	そ の 他	0	0	0	0	0
	計	1,966	1,943	1,960	2,081	121
	(内、減価償却額)	(213)	(215)	(219)	(221)	(2)
	教育活動収支差額	200	101	△ 71	△ 258	△ 187
	教育活動外収入	0	0	0	4	4
	教育活動外支出	17	15	12	7	△ 5
	教育活動外収支差額	△ 17	△ 15	△ 12	△ 3	9
	経常収支差額	183	86	△ 83	△ 261	△ 178

(参考)

経常収入計	2,166	2,044	1,889	1,827	△ 62
経常支出計	1,984	1,958	1,972	2,088	116

経常収支の推移



(2) 主要財務比率の推移

(評価 = △：高い方がよい ▼：低い方がよい)

学生生徒の減少により人件費依存比率が高くなってきています。また、経常支出に一時的な支出 160 百万円が発生したため、経常収支差額比率は大きく悪化となりました。流動比率は、不動産の売却により、現預金が増加し大きく改善しました。

比 率	算 式 (×100)	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	令和2年度 全国平均 (医歯薬を除く)
人 件 費 依 存 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	76.0%	83.6%	96.4%	97.2%	69.6%
人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	▼	51.0%	53.0%	59.3%	58.3%	51.8%
教 育 研 究 費 比 率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経 常 収 入}}$	△	30.1%	31.5%	33.5%	36.1%	35.2%
管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経 常 収 入}}$	▼	9.7%	10.6%	11.1%	19.6%	8.2%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収入計}-\text{経常支出計}}{\text{経 常 収 入}}$	△	8.5%	4.2%	-4.4%	-14.3%	4.6%
流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	△	214.3%	144.9%	112.0%	903.3%	256.6%

3. 学校法人会計の概要と用語説明

国または地方公共団体から経常費補助金の交付を受ける学校法人は、「私立学校振興助成法」の定めにより「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて所轄庁に届け出ることが義務づけられています。

「学校法人会計基準」に定められている計算書類は、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の3表です。また、「私立学校法」により、これらの他に「財産目録」、「事業報告書」を作成することと、中期経営計画の作成（2019年度より）が求められています。

なお、「私立学校法」「私立学校振興助成法」及び「学校法人会計基準」は2025年4月に改正されましたが、2024年度決算については改正前の基準によるものとされています。

（1）資金収支計算書…企業会計の「キャッシュフロー計算書」に類似します。

- ア. 「資金収支計算書」は、学校法人の当該年度（4月1日～翌年3月31日）の全ての収入と支出の内容ならびに支払資金（現金預金）の収入・支出の顛末を明らかにするものです。
- イ. 内訳として「資金収支内訳表」（学校法人、大学各学部別および大学計、高校、中学、こども園、総額の組織別資金収支を記載）、「人件費支出内訳表」（人件費について組織別に記載）の他、「活動区分資金収支計算書」を作成しています。
- ウ. 「活動区分資金収支計算書」では、「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」（借入金の収支等、主に財務活動）ごとに資金の流れを把握することができます。

（2）事業活動収支計算書…企業会計の「損益計算書」に類似します。

- ア. 「事業活動収支計算書」は、当該年度の収入と支出について、本業での収支を「教育活動収支」、その結果を「教育活動収支差額」、財務活動での収支を「教育活動外収支」、その結果を「教育活動外収支差額」、この2つの合計を「経常収支差額」として記載します。
- イ. この後に資産売却等の臨時的な収支を「特別収支」、その結果を「特別収支差額」、以上全ての収入と支出の差額を「基本金組入前当年度収支差額」として記載します。さらに、「基本金組入額合計」、「当年度収支差額」、「前年度繰越収支差額」、「翌年度繰越収支差額」と長期の収支バランスを示す項目が続きます。
- ウ. 脚注には、「事業活動収入計」（教育活動収入＋教育活動外収入＋特別収入）、「事業活動支出計」（教育活動支出＋教育活動外支出＋特別支出）を記載します。

（3）貸借対照表…年度末における財政状態を表したものです。

- ア. 学校法人の資産に対する負債（他人資本）と純資産（基本金＋繰越収支差額（翌年度繰越収支差額））（自己資本）の額を明らかにします。
- イ. 基本金は、学校法人がその諸活動に必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業収入の内から組入れた金額です。

第1号基本金	取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産に充てるために、事前に計画的、段階的に積み立てる金銭その他の資産の価額
第3号基本金	奨学基金等として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他資産の価額
第4号基本金	恒常的に保有すべき資金

（4）財産目録…貸借対照表の資産や負債の具体的内容を表したものです。

学校法人が所有する土地や建物の面積、図書の冊数などを知ることができます。また、財産目録は、「基本財産」（私立学校に必要な施設および設備またはこれらに要する資金）と「運用財産」（私立学校の経営に必要な財産）に区分して記載することになっています。

Ⅵ 第3次中期経営計画（2020年度～2024年度）と実績

1. 2024年度実績と中期経営計画および前年度との比較

(単位：百万円)

	2024年度 中計 ①	2024年度 実績 ②	中計比 ②－①	2023年度 実績 ③	前年度比 ②－③
学生生徒等納付金	1,447	1,096	△351	1,162	△66
経常費等補助金	485	598	113	596	2
その他収入	112	129	17	131	△2
教育活動収入計	2,044	1,823	△221	1,889	△66
人件費	1,044	1,065	21	1,119	△54
教育研究費	733	659	△74	632	27
管理経費等	224	357	133	209	148
教育活動支出計	2,001	2,081	80	1,960	121
教育活動収支差額	43	△258	△301	△71	△187
教育活動外収入計	0	4	4	0	4
教育活動外支出計	14	7	△7	12	△5
教育活動外収支差額	△14	△3	△11	△12	9
経常収支差額	29	△261	△290	△83	△178
在学学生生徒総数	1,505	1,201	△304	1,285	△84
有利子負債期末残	1,400	541	△859	1,440	△899

<学生生徒総数>

(単位：人)

	2024年度 中計④	2024年度 実績⑤	中計比 ⑤—④	2023年度 実績⑥	前年度比 ⑤－⑥
国際観光学部	410	278	△132	321	△43
子ども教育学部	330	200	△130	230	△30
大学計	740	478	△262	551	△73
短期大学部 保育科	—	—	—	—	—
高等学校	480	442	△38	414	28
中学校	150	150	0	187	△37
中高計	630	592	△38	601	△9
附属こども園	135	131	△4	133	△2
学生生徒総数	1,505	1,201	△304	1,285	△84

(1) 学生・生徒数

学生生徒総数は、1,201 名で中期経営計画比△304 名、前年度比△84 名と厳しい結果となりました。

(2) 事業活動収支計算書の経常収支差額

経常収支差額は、△261 百万円の赤字で、中期経営計画比△290 百万円の未達、前年度比△178 百万円の悪化と厳しい結果となりました。

2. 課題に対する成果

(1) 子ども教育学部の学生確保は厳しい状況続く。国際観光学部は回復。

子ども教育学部の入学生は 2024 年度 35 名（平安女学院高校からの進学者 9 名＋受験生 26 名、前年度比△20 名）となりさらに厳しい状況が続いています。

反面、国際観光学部の入学生は 2024 年度 78 名（前年度比＋38 名）となり、大学入学生全体では前年度比＋38 名に改善しました。

(2) 耐震工事で増加した有利子負債の圧縮

（単位：百万円）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
金融機関	1,460	1,257	1,135	870	0
学校債	834	828	706	570	541
計	2,294	2,085	1,841	1,440	541
前年度比	△264	△209	△244	△401	△899

金融機関借入の繰上げ返済 870 百万円を行い、学校債の償還、約定返済を含めて前年度比△899 百万円の減少となり、計画を上回る有利子負債の圧縮となっています。

2024 年度 事 業 報 告 書

発 行 日 : 2025年5月28日

発 行 : 学校法人 平安女学院
京都市上京区室町通樺木町上る武衛陣町 221
電話 075 (414) 8155
<http://www.heian.ac.jp>

編 集 : 学校法人平安女学院 法人事務局

